

脱炭素社会の実現に貢献する技術開発



取締役 執行役員
スペシャリティ事業部門長

山本 基弘

DNTコーティング技報No.22の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

様々な分野で課題を解決する技術革新がなされ、私たちの生活に利便性を与え、社会を豊かにしてきました。私たちは、これらの技術を進化させ続け、新たに生じる課題を解決していく使命を担っています。

近年、ほぼ毎年のように猛暑や豪雨といった異常気象が発表されています。これは、温室効果ガスによる地球温暖化が原因という説が有力です。この温室効果ガスの削減に関して、政府は昨年、2050年にカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すとし、そのために、パリ協定における温室効果ガスの削減目標値を引き上げ、「2030年に2013年比46%減」という目標値を発信しています。このように政府が意欲的な目標値を発信することで、脱炭素社会の実現に向けて様々な産業分野や各企業の取り組みがさらに本格化していくことに繋がっていくものと思います。

塗料・塗装分野におきましても、環境対策は進められてきていますが、さらに踏み込んだ取り組みが必要となるところです。塗料は、様々な産業分野で使用されているもので、その塗膜の機能性によって、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に貢献できる材料と成り得るものです。例えば、遮熱塗料は、日射による室内空間や路面の温度上昇を抑えることができるため、冷房に必要な電力量を低減することに繋がります。また、これからの研究によっては、温室効果ガスが無害な物質に変化させることのできる塗料などが開発できれば、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に対して、直接的な貢献に繋がります。弊社は、その時代に合った社会が必要とする技術開発を続けてまいります。

「DNTコーティング技報」では、毎号最新の研究成果、商品開発、新商品情報などの一端を紹介しております。本報に掲載しております製品や技術も各々の分野における課題を解決することができる機能性を有しております。また、一昨年に開所致しました「防食技術センター」「コーティング技術センター」の両技術センターは、お客様と様々な目的を持って活用されております。技術開発活動のご参考になればと思い、本報に両技術センターの有効な活用の一部を紹介させて頂きました。

弊社は、お客様が求める新規商品をより早くご提供し、社会に貢献してまいります。本報が、日頃ご愛顧を頂いている皆様とのコミュニケーションの一助となり、僅かでもお役に立てますことを心より願っております。